



オリーブ通信

<http://www.ne.jp/asahi/olive/kusatsu>

2015年
11月号
2015.11.14発行
第169号



オリーブ秋のバス旅行



11月8日、日曜日 貸切バスで三重県の伊勢神宮、おかげ横丁、夫婦岩を巡る小旅行を行いました。

天気はあいにくの雨、でも、みんな秋の一日を満喫しました。バスの中では自己紹介で歌をうたってくれる人がいたり、質問が飛び交ったり、始終楽しい雰囲気でした。これまで話したことのない人ともいろいろ話ができただけではないでしょうか。参加者42名（生徒さんの参加が先生の約3倍！） 2ページのレポートをごらんください。



中川先生のへんてこ日本語

64

だいじょうぶです

「コーヒーもう一杯いかがですか」このような申し出に対してどう断るか。「いいです」「結構です」：どのようなイントネーションで断るか、日本語学習者には「結構」難しい。

日本の若者には、「だいじょうぶです」という断りが増えている。イエスカノーか、きっぱり断ることを避けた、相手への配慮表現であるとも考えられるが、若者が間接的な非明示的表現を好むとは、他の多くの表現とは逆方向であり、考えにくい。

そもそも「だいじょうぶ」とは、「まちがいない」意であろうが、『明鏡国語辞典』（大修館）では、俗語として「相手の勧誘などを遠回しに拒否する語」との説明を載せ、「主に若者が使う」と注釈し、ただし「本来は不適切」と説明している。

つまり、相手の顔色を窺いながら、上手に断ることのできない若者が、無難に断る手法として「だいじょうぶ」に味をしめたものと考えてよい。

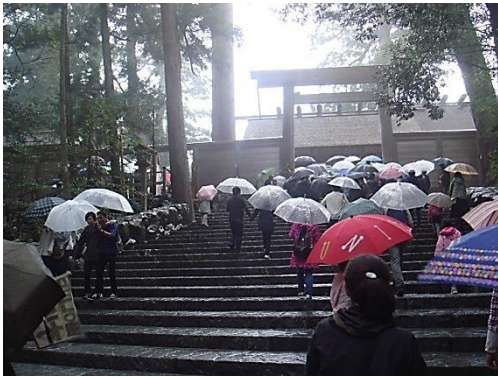
たしかに日本語教科書には、「いいえ結構です」などの断り方を載せているが、文字面だけを眺めていても、どんなイントネーションで断ればいいのかは教えてもらえない。イントネーションを間違えると、反対の「素晴らしい」意味になってしまうので、日本語学習者が難しいと感じるのも無理はないが、日本の若者も、対人コミュニケーションの機会が薄れ、無難な「だいじょうぶ」を選んで、相手への気遣いを装っているものと思われる。

コンビニでアルバイト店員をしている留学生に言わせると、「お弁当温めましょうか」という問いかけに、「結構です」と返答されるのがいちばん困るそうだ。イエスなのかノーなのか。いっそ「だいじょうぶです」のほうが分かりやすいと言いが、いったい何がだいじょうぶなのだろうか。その日本語だいじょうぶ？



京都外国語大学 日本語学科教授 中川良雄





伊勢神宮(いせじんぐう) 日本の神様のボスが住んでいる所です。

伊勢神宮には神様のいる建物とそこへ続くゆるやかな上り坂があり、周りには高い木が並んでいます。上り坂が始まる所には水が溜められていて、神宮に入る人はみんな水で手を洗ったり口の中をゆすいだりしなければいけません。洗い方には順番があります。初めて神宮に来た人は少し驚きましたが、先生に洗い方を教えてもらいました。



みんなは「雨が降っていて残念だな」と思いましたが、写真を撮りながら楽しく観光できました。建て替えが終わったばかりの神様の建物は、金色が鮮やかで美しかったです。

神宮では太鼓の演奏があり、「太鼓が一番印象に残っています」という生徒もいました。太鼓の音は遠い所にも聞こえるほど迫力がありました。



おかげ横丁(おかげよこちょう) 伊勢神宮の近くにあります。飯屋・屋台・おみやげ屋がたくさんあります。

たくさんの観光客でにぎわっていて、歩いているだけでワクワクする場所でした。屋台では目の前で食べ物を調理してくれるので、おいしそうな匂いがあちこちから漂ってきます。みんなはここでお昼ご飯を食べました。名物は伊勢うどん、しょうゆ味の黒いタレが特徴的です。「でも一番おいしかった食べ物は“カキフライ串”！」と教えてくれる生徒もいました。



バスの中では自分が買ったおみやげを見せ合いました。まんじゅうや焼き菓子・日本語が書いてあるTシャツなど、いろんな物を買いました。



海(うみ) 夫婦岩(めおといわ)が有名な海岸です。

「めおと」とは夫妻という意味で、岸から少し離れた海上にある二つの岩が夫妻のように仲良く並んでいることから名前がつけられました。人よりも大きい岩と、岩に勢いよく当たる波の水しぶきには、海の力強さを感じます。夫婦岩が見える場所に立って、最後にみんなで記念撮影をしました。写真を撮りすぎてスマートフォンのメモリーがいっぱいになったことも、良い思い出になりました。

レポート：後藤美子

(生徒が読むことを想定して書いてくれました)





「オーストラリアの野鳥たち」

現在里帰り出産のため、日本に一時帰国をしておりますが、普段はオーストラリアのシドニー、ヴォークルーズ市に在住しております。

私の自宅近くにはナショナルパークや、ビーチがあり、街中でも自然を身近に感じられる場所です。毎日朝晩に愛犬と散歩へ行くのですが、今回はそこで会える野鳥を紹介したいと思います。

シドニーのエリアにいるよく見かける野鳥たちは日本にいる野鳥たちに比べると色がカラフルで、大きな声で鳴くのが特徴的です。なかでも、クックバラという鳥は、通称笑い川蝉と言われ、その鳴き声も名前の通り笑っているように鳴きます。

「クククク、カカカカ..」と森のなかに響いて聞こえてきます。はじめてその鳴き声を耳にした人たちは思わず「誰かが変な声で笑っているように聞こえる」と思ったりします。

そんな鳴き声でも外見はつぶらな真ん丸の瞳で、大きなくちばしを持つ肉食の鳥です。私の家にも雨宿りでバルコニーにやって来ては休み、私は愛犬のご飯に使うミンチ肉をあげたりして、なんともフレンドリーで可愛らしい一面もあり、人間に対しては警戒心はそこまで強くありません。

クックバラ以外でもレインボーロリキート(五色インコ)やガラー(桃色インコ)など、日本のペットショップで売っているような鳥達が自然に飛んでいるのが見られます。

皆様も美しい野鳥達がいるオーストラリアへ遊びに来ませんか？



クックバラ



レインボーロリキート



介護のための日本語を教えて・・・

8月後半から始まった「外国人介護職員のための日本語研修」が10月半ばに終了しました。週4日、全部で80時間の授業を、恩地先生、私、もうひとりの先生と3人で分担したのですが、終わってしまうととても短い期間だったと感じました。

生徒は、フィリピン、ブラジル、ペルー、中国の方々に、年齢も職業も様々、女性14人、男性2人です。在日期間は数年から10年以上と日本語のレベルにも差があり、在日期間が長い人も学校に通って日本語を勉強した人はほとんどおらず、ひらがなが書けなかったり、話すのは上手でも文章が書けなかったりで、どうなることかと最初は心配でした。

実際に授業に入ると、日本語が分かる人が分からない人に教えてあげたり、みんな積極的に質問をしてくれて、毎日にぎやかな授業になりました。

動詞のグループ分けから始まり、て形、辞書形、ない形、可能形・・・と進んでいったのですが、その形を使って話しているのに変換練習になるとつまる人も多く、生活の中で覚えるのと勉強して覚えるのでは違うのだなあ、と実感しました。

また、今回は介護職員になるための研修でしたので、介護の現場でよくありそうな場面を使って教えなければなりません。私は介護の専門的な知識はないので話し方しか教えることができず、教えることの難しさを感じた点でもありました。

この研修を通じて何より嬉しかったのが、生徒の皆さんの勉強したいという気持ちと、日本語の勉強が楽しいという言葉でした。

日本語の研修は終わりましたが、介護職員になるための研修は来年1月まで続きます。あと約2か月頑張って研修を無事に修了してほしいと願っています。

小島 裕子

※外国人介護職員研修は滋賀県の事業です。



先月の活動(10月)



日本語教室 10/3(M),17,24,31
 「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
 文化庁担当者との会談 10/2(金)(恩地)
 “防災授業” 10/3(土)
 まちセン運営協議会全体会議 10/6(火)(田中一)
 BNN 会議 10/24(土)(佐野)



今月の活動予定(11月)



日本語教室 11/7(M),14,28
 オリーブ秋のバス旅行 11/8(日)
 「生活者としての外国人」のための日本語教育事業
 運営会議 11/9(月)(恩地)
 “環境とごみの分別授業” 11/14(土)
 シンポジウム打合せ 11/16(月)(恩地)
 まちセン運営協議会施設部会 11/12(木)(田中一)
 まちセン施設部会主催落語会 11/21(土)(田中一)

●日本語教室の(M)は定例ミーティング ●()内は参加者、または 参加予定者。敬称略



参加人数(10月)

	10/3	10/17	10/24	10/31
先生	17人	20人	19人	17人
生徒	23人	29人	24人	23人



会員の動き(10月)

〈入会〉なし
 〈休会〉なし 〈退会〉なし
 〈賛助会員〉なし



おしらせ

としよかんまつり



日時:11月28日(土)10時~16時
 場所:草津市立図書館
 内容:本の無料リサイクル市、点字で名刺作り、松ぼっくりでクリスマスツリー作り、図書館クイズで賞品ゲットなど
 外国人による日本語スピーチ 13:30~14:00
 耳で読む読書の紹介 12:00~15:00
 問合せ:077-565-0589 後藤

文章中の語彙の初出課を判定するシステム

「みんなちえっかー(仮)」

甲南大学 知能情報学部 知能情報学科が開発しました。教案づくりやテスト作成の際、この単語は既習か未習か容易に確認できるので便利です。「みんなの日本語初級I・II」に準拠しています。ウェブブラウザ上のテキストボックスに文章を入れて、任意の課を選択すると、当該の課までの既習語と未習語が色分け表示され、さらに初出課がリストアップされます。試してみてください。

<http://basil.is.konan-u.ac.jp/cgi-biin/minna.cgi>
 (みんなちえっかーで検索もできます)



中村さんの季節折々 11月(霜月)

磯笛のいつか途切れて波立ちて激しき音の夕べとなりゆく

ケンジ

※みなさん、オリーブの遠足、三重県の旅はいかがでしたか？
 三重県の海は、海女(あま)さんという女性の漁師が素潜りで貝や、おにぎりで使う海苔(のり)などを取る独特の文化があります。長い時間、海の中にもぐっている私達にはマネができません。
 「磯笛(いそぶえ)」とは、海女の深い呼吸(息を吸うこと)をイメージした昔の日本語です。みなさんがバスで旅行したすばらしい場所には、このような古い日本語もあるのでぜひ覚えてね。 中村健治



編集後記: ハロウィンの熱狂(?)も終わり、紅葉も見ごろを迎えています。晩秋の情緒を楽しむ季節ですね。みなさんも楽しいお出かけプランをお持ちだと思います。紅葉狩りの穴場があったらぜひ教えてほしいです。

さて、オリーブでは、文化庁助成事業の日曜クラスが始まり、担当者は日曜の遠出もままなりません。かくいう私もそのひとり(涙)でも、もっともっと日本語を勉強したいと、来てくれる生徒ががいるのはうれしいことですね。土曜日のクラスも生徒が増えているようですし、先生のみなさん、なるべく休まないでね。よろしく願います(MO)

